

武庫川女子大学 生活環境学科 建築デザインコース 住環境・地域デザインゼミ 奥野 裕美子



芦屋浜高層団地について
芦屋浜シーサイドタウンは、芦屋市の総合開発と兵庫県の行政の一端として、1990年代前半に建設された。1997年に完成した高層住宅は、市街地の発展に貢献し、住みやすさを追求し、環境に配慮した住みやすさを追求し、安全で快適な暮らしを実現した。約30年経ち、約3000戸の間に約4000戸の増築が計画され、約3000戸の増築が完了した。

プロジェクトについて
兵庫県芦屋市の芦屋浜シーサイドタウンに位置する芦屋浜高層団地は、子育て世代の増加により、団地の機能や設備が老朽化している。そこで住民（芦屋浜自治会）と武庫川女子大学の学生とが連携し、多世代交流スペースとして「またあした」プロジェクトとして復興計画が行われることとなり、安全で快適な暮らしを実現した住環境を目標に、約30年経ちの間に約4000戸の増築が計画され、約3000戸の増築が完了した。

プロジェクトについて
兵庫県芦屋市の芦屋浜シーサイドタウンに位置する芦屋浜高層団地は、子育て世代の増加により、団地の機能や設備が老朽化している。そこで住民（芦屋浜自治会）と武庫川女子大学の学生とが連携し、多世代交流スペースとして「またあした」プロジェクトとして復興計画が行われることとなり、安全で快適な暮らしを実現した住環境を目標に、約30年経ちの間に約4000戸の増築が計画され、約3000戸の増築が完了した。

プロジェクト理念
「いつも誰かがそばにいてくれる多世代共助」
使われていない集会所を再生 ●コミュニティ形成のきっかけ
誰かが集える「集り所」に ●持続可能なコミュニティ形成

組織図
住民: 芦屋浜自治会 (会長・理事・広報、イベント準備) / 武庫川女子大学生活環境学科 (教員・学生・公、みんなで作っていく)
学生: 武庫川女子大学生活環境学科 (教員・学生・公、みんなで作っていく)
公社: 兵庫県住宅供給公社 (建設・管理・広報、ルール・運営)

プロジェクトフロー

	理念	空間デザイン	リノベーション工事	コミュニティマネジメント
住民	構想 意見交換 ワークショップ参加 (理念)	意見交換 基本仕様 事業費 ワークショップへの参加 (空間づくり)	DIYへの参加	広報活動 (ポスター制作) 集会所のおひろめ会 (準備、運営) 住民主体での集会所活用のための検討 (使用ルール、使用料金)
公社	構想 相談づくり ワークショップ参加 (理念)	予算 事業費 (設計等) ワークショップ参加 (空間づくり)	リノベーション工事	住民主体での集会所活用のための検討 (使用ルール、使用料金)
学生	構想 ワークショップ参加・まとめ プロジェクトに関する資料準備 事例研究	ワークショップ参加・まとめ 集会所の活用について (企画、設計、住居、管理・維持のための説明 集会所の活用について (企画、設計、住居、管理・維持のための説明)	DIYへの参加 DIYの参加 DIYの参加、ウッドデッキ作り	住民主体での集会所活用のための検討 (使用ルール、使用料金) 広報活動 (ポスター制作、SNSや大学HPでの情報発信) 集会所のおひろめ会 (企画、運営、広報) 住民主体での集会所活用のための検討 (おひろめ会、アンケート調査) 住民主体での集会所活用のための検討 (使用ルール、使用料金)

スケジュール

2016年	2017年
8月	1月
① 8/19	⑤ 1/12
② 9/29	⑥ 2/15
③ 11/3	⑦ 3/10
④ 12/1	⑧ 3/18,25
⑨ 4/6	⑩ 4/15,16

検討・内容

- ① 企画案の決定、芦屋浜自治会との連携、活動の進め方、集会所の使い方の提案、復興計画
- ② 第1回ワークショップ、基本仕様、集会所の使い方の提案
- ③ 第2回ワークショップ、テーマ・空間デザインの提案、事業費の提示、実現するための方法論
- ④ 第3回ワークショップ、事業内容の決定、団地、模型による説明
- ⑤ 第4回ワークショップ、工事内容の説明、住居の提案、住居の提案、住居の提案
- ⑥ 第5回ワークショップ、集会所の活用について、DIYイベントについて、オープニングイベントについて
- ⑦ 第6回ワークショップ、工事内容の説明、住居の提案、住居の提案
- ⑧ 第7回ワークショップ、DIYイベントについて、おひろめ会の告知、アンケート
- ⑨ 第8回ワークショップ、集会所の活用について、DIYイベントについて、オープニングイベントについて
- ⑩ 第9回ワークショップ、集会所の活用について、DIYイベントについて、オープニングイベントについて

学生作業

作業	A	B	C	D	E	F	G
作業内容	9/22 ゼミ 9/27 2回の準備	10/6-13 ゼミ 10/20 打ち合わせ 11/1-2 合宿	11/10 ゼミ 11/15 打ち合わせ 11/17 ゼミ	12/15 打ち合わせ 12/22 ゼミ 1/24 打ち合わせ 2/7 ゼミ	1/19 ゼミ 2/10 学生自治会との連携 2/14 打ち合わせ 2/27 ゼミ	3/16-25 DIY参加	4/15-16 おひろめ会 4/18-19 セミナー 4/21 アンケート

学生作業内容

- A 企画案の決定、プロジェクトの進め方を学ぶ、ワークショップの準備
- B 第1回ワークショップの準備、企画案の決定、プロジェクトの進め方を学ぶ、ワークショップの準備
- C 意見交換のための説明、集会所の活用について、DIYイベントについて、オープニングイベントについて
- D 団地説明、公社説明の準備、プレゼンテーションの準備、住居の提案について
- E 集会所の活用について、DIYイベントについて、オープニングイベントについて
- F 工事現場見学、DIY参加、アンケート調査、ムービー作成
- G おひろめ会準備、チラシづくり、おひろめ会の告知、アンケート調査、ムービー作成

住民参加型ワークショップ②～④の進め方
理念 → 空間デザイン → リノベーション工事 → コミュニティマネジメント

② 提案 → ③ 会議 → ④ ワークショップ → ⑤ 発表

「提案図面・模型」
交流のない暖かい集会所を、約2000戸の集会所を再生し、住居の活用を促進する。約2000戸の集会所を再生し、住居の活用を促進する。約2000戸の集会所を再生し、住居の活用を促進する。



リノベーション工事で実現した課題と改善点

課題	改善点
天井が低い	天井を高く
キッチンが狭い	キッチンを広く
壁が汚れている	壁の塗り替え
トイレに段差がある	フローリングの敷き替え
多目的トイレがない	多目的トイレの設置
広場とのつながりがない	ウッドデッキをつける

DIYワークショップ⑧
住民を巻き込んだDIYワークショップを開催した。約2000戸の集会所を再生し、住居の活用を促進する。約2000戸の集会所を再生し、住居の活用を促進する。



第2集会所おひろめ会
4月16日(日)
13:00-16:00
100名程度参加予定

おひろめ会を開催した。約2000戸の集会所を再生し、住居の活用を促進する。約2000戸の集会所を再生し、住居の活用を促進する。



今後の課題

- ・ 団地の空室化
- ・ 家具作り
- ・ コミュニティマネジメント
- ・ 多世代交流できるイベントの企画
- ・ 学生・スタッフの育成
- ・ 食育・環境教育とコラボした子ども食堂
- ・ 学生・学的研究員による情報発信

これから
現在は毎週金曜日13時～17時に集会所を開き平均5人の子供たちが集まっています。おひろめ会ではアンケートを実施し、住居の方から集会所の活用方法について話し合いました。今後おひろめ会を開催し、住居の方から集会所の活用方法について話し合いました。今後おひろめ会を開催し、住居の方から集会所の活用方法について話し合いました。



おひろめ会
おひろめ会を開催した。約2000戸の集会所を再生し、住居の活用を促進する。約2000戸の集会所を再生し、住居の活用を促進する。

